



雫石町の観光マスコットキャラクター

「しずくちゃん」。雫石あねっこをモチーフにした、
可愛いキャラクターです。

令和4年(2022年)

雫石町観光客入込調査報告書



雫石町観光商工課

目 次

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)各統計調査種目	
(3)調査期間	
(4)調査方法	
2 調査・本書に関する注意事項	2
(1)調査に関する事項	
(2)本書に関する事項	
3 用語の定義	4
(1)入込調査に関する用語	
(2)社会的要因に関する用語	
4 入込調査ポイント(観光施設)一覧表	7

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向	8
2 観光地年別入込状況	14
3 観光地別月別入込状況	18
4 観光資源別入込状況	20
5 利用交通機関の状況	22
6 県外教育旅行客の入込状況	23
7 外国人観光客の入込状況	26
8 2022～2023シーズン・スキー客入込状況	28
9 雫石町観光レクリエーション入込調査数の推移	30

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要

(1) 調査の目的

雫石町内の観光地における観光客の動向等を把握し、効果的な観光振興策を進めるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 各統計調査種目

①基本統計

ア. 観光レクリエーション客入込調査

観光レクリエーション客の次の項目について、毎月調査を実施。

- ・ 県内・県外別入込数
- ・ 日帰・宿泊別入込数
- ・ 利用交通機関別入込数

②その他の統計

ア. 外国人観光客入込調査

外国人観光客の入込数について、国別（日帰・宿泊別）に毎月調査を実施。

イ. 教育旅行客入込調査

学校、学習塾、スポーツ合宿など、教育や学習の一環として訪問した教育旅行客の次の項目について、毎月調査を実施。（教育旅行に含まれるものは、修学旅行、林間学校、スキー旅行、スポーツ合宿(大会)など。）

- ・ 都道府県別
- ・ 学校数（数）
- ・ 人員
- ・ 見学・体験等
- ・ 宿泊の有無

ウ. シーズン・スキー客入込調査

冬季の観光振興を図るための基礎資料を得ることを目的に、スキーのシーズンに合わせ、前年の12月からシーズンに該当する年の4月までを期間として、雫石町内3つのスキー場を対象に毎月実施。

(3) 調査期間

令和4年1月1日 ～ 令和4年12月31日

(4) 調査方法

毎月調査については、依頼文書及び調査様式を送付し、様式内に必要事項を記入のうえ、メール、FAX等で担当まで報告。また、毎月の報告期限については依頼文書において照会している。

2 調査・本書に関する注意事項

(1) 調査に関する事項

本調査は、平成 21 年雫石町入込調査報告書まで岩手県の共通基準に基づいた調査により、入込客数の集計を行ない報告書にしていた。それまでに岩手県が行なっていた調査は、従来の全国共通基準に従った方法であったが、その共通基準が平成 22 年に大幅な変更となった。主な変更点としては次のとおりである。

①観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（平成 22 年 2 月、岩手県）

項目	平成 21 年以前の調査基準 [調査名：観光レクリエーション客入込調査]	平成 22 年以降の調査基準 [調査名：観光地点等入込客数調査]
調査地点	・市町村が定める調査地点	・月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満と判断される地点 ・観光入込客数が適切に把握できる地点 ・ <u>前年の入込客数が年間入込客数 1 万人以上もしくは前年の特定月の入込客数 5 千人以上の地点</u>
調査箇所数	124 観光地（754 箇所以上）	約 350 箇所
報告回数	年 4 回（四半期毎）	年 4 回（四半期毎）
公表回数	年 1 回（県観光統計概要として公表）	年 4 回（四半期毎）

これは、全国共通基準に基づき岩手県で行なう調査である。しかし、市町村毎の調査については県で行なう統計調査と統一する必要がない旨の説明があったことから、雫石町で行なう入込客数調査については、以前まで行なっていた調査を一部変更し継続することとした。変更事項については次のとおりである。

②観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（雫石町）

項目	平成 21 年以前の調査基準	平成 22 年以降の調査基準
観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然系観光資源（温泉以外・温泉） ・人文系観光資源（行・祭事） ・展示見学教育施設 ・野外活動施設（スキー以外・スキー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記標記の観光資源（4つの観光資源） ・都市型観光資源 ・その他観光資源（道の駅等） ※用語の定義を参照
調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源に伴った観光施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前までの観光施設 ・新たな観光資源により追加した観光施設 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>道の駅「雫石あねっこ」(売店・レストラン)、 味力レストラン雫(雫石銀河ステーション内)、 農家レストラン「らら」、松ぼっくり</p> </div>
調査箇所数	94 箇所	97 箇所
公表回数	年 2 回（速報版・確定版）	年 2 回（速報版・確定版）
観光資源の追加理由	<ul style="list-style-type: none"> ・以前までの調査については、食・グルメ、その他都市型観光（買物等）、道の駅（入浴施設以外）を含めておらず、雫石町内への正確な入込客数を把握できていなかった。そこで、平成 22 年より都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）を追加して、より正確な入込客数を把握することとした。 ・都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）は、現在、岩手県が行なっている観光統計基準にあるもので、平成 22 年より新たに追加された観光資源である。この観光資源が追加になったことから、当町の統計調査でも追加することとした。 	

（2）本書に関する事項

雫石町観光客入込調査報告書については、本編において平成 22 年以降に行なった調査基準を用いたデータで比較分析を行ない、参考資料で平成 21 年以前の調査基準を用いた平成 22 年までの推移を記載する。

3 用語の定義

本書で使用する主な統計用語の定義は、次に説明しているとおりである。

(出典先：平成 29 年雫石町観光統計調査要領)

(1) 入込調査に関する用語

①【観光レクリエーション客】

居住地が観光地の地域内であるか否か、若しくは、外出距離の遠近にかかわらず、観光レクリエーションの目的で、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した者をいう。

②【人回】

観光レクリエーション客の入込数の単位であり、令和 4 年 12 月末日において、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントをゲートとしてカウントする延べ人員数をいう。

③【外国人観光客】

観光施設、行・祭事、イベントなどに、観光レクリエーションの目的で訪問した外国人客をいう。

④【県外教育旅行客】

学校、学習塾、スポーツ少年団による合宿など、教育や学習、スポーツの一環として、観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した県外に学校が所在する旅行客をいう。

⑤【自然系観光資源】

雫石町内の山岳、高原、湖沼、特殊地形、植物で、観光的に魅力のあるもの及び温泉をいう。

⑥【人文系観光資源】

雫石町内の神社、仏閣、庭園、町並み、旧街道、歴史的建造物、近代的建造物、史跡、名所（文学碑、銅像、墓、生家など）、行・祭事、イベント、郷土芸能、伝統工芸術、地域風俗、味覚などで、観光的に魅力のあるものをいう。

⑦【展示見学教育施設】

雫石町内の歴史民俗資料館、美術館、産業観光施設等をいう。

⑧【野外活動施設】

雫石町内のハイキングコース、自然歩道、自然散策路、テニスコート、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、観光農林業、観光牧場、レジャーランド、公園、プール等をいう。

⑨【都市型観光資源】

雫石町内の商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光（買物・食等）等をいう。

⑩【その他観光資源】

他に分類されない観光地点のことをいう。また、道の駅やパーキングエリア等はここに含める。ただし、単なる休憩機能のみの施設は除くこととする。

⑪【定路線交通機関】

鉄道、定期バスなど、定期的に運行している交通機関をいう。

⑫【その他（交通機関）】

定路線交通機関、貸切バス、自家用車以外の交通機関のことをいう。例としては、レンタカー等がこれに含まれる。

(2) 社会的要因に関する用語

○主な用語

①【新型コロナウイルス(COVID-19)】

2019年12月に中国・武漢市で確認された原因不明の肺炎に端を発する、新型コロナウイルスによる感染症。変異株発生により感染爆発と沈静化を繰り返しながら、全世界で感染拡大した。2022年に感染の主流となった変異株のオミクロン株は感染力が強く、1月には感染の第6波に突入。一方で重症化リスクが低いという特性もあり、従来のような行動制限は求められなかった。人の移動が増えたことと、亜種B. A. 5の拡大により7月には第7波となり、爆発的に感染者数が増加した。また、「GoTo トラベル」は中断したままとなったが、都道府県が行う宿泊補助等の適用範囲を拡大した「全国旅行支援」が10月からスタートし、感染拡大が落ち着きを見せたことも相まって、各地を訪れる旅行者が増大。しかし11月には、第8波突入の見解が示された。

県内・町内に目を転じると、1月に感染者の増加を受け県独自の緊急事態宣言を発出。その後5月末に解除されたものの、昨年末3,500人ほどだった感染者数は、2月末には累計で10,000人、9月には100,000人を突破。7月以降の第7波、11月以降の第8波では、1日あたりの新規感染者数が2,000人を超える日も多く、一段と感染が拡大した。昨年12月末時点での岩手県の累計感染者数は201,855人で、一昨年末のおよそ58倍と大幅に増加した。

その一方で、本年は規模を縮小しながらもお祭りやイベントの多くが再開され、「全国旅行支援」などの効果もあり、減少に歯止めがかからなかった来訪者数も昨年より増加。さらに外国人旅行者に関しては、3月に観光目的以外での入国(上限5,000人/日)を、6月には添乗員付きツアーに限定して観光客の受入を再開。10月からは入国上限撤廃、短期ビザの免除など事実上入国制限が撤廃され、町内でも徐々に入込が増え始めている。

②【いわて雪まつり】

平成29年に50回の節目を迎えた岩手の冬の一大イベント。平成30年の第51回から、岩手高原スノーパークをメイン会場とする複数会場での開催に変更。昨年に引き続き、本年も新型コロナウイルスの感染拡大に伴い開催中止となった。さらに近年の来場者数減少に伴い、「いわて雪まつり」としては開催終了とし幕を下ろすこととなったが、新たに令和5年2月に「雫石・冬フェスタ」として、小岩井農場まきば園を会場に体験型アクティビティなどこれまでと異なる形での冬のイベントを開催することとなった。

③【ONSEN ガストロノミーウォーキング in 雫石・鶯宿】

「その土地の食、自然、歴史・文化と共に温泉も楽しむ」というウォーキングイベントで、一昨年鶯宿温泉周辺を会場に第1回目を開催(岩手県内では初)。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、本年は一部コースを見直し、9月18日(日)に2回目を開催。第7波の収束が見えない中、当初の予定より少ない94名が秋の御所・鶯宿地区でウォーキングを楽しんだ。

④【KOIWA Winter Lights - 銀河農場の夜 2022】

小岩井農場まきば園で開催される、冬のイルミネーションイベント。一昨年まで「小岩井ウインターイルミネーション - 銀河農場の夜」として開催されていたが、昨年名称も新たに内容も変更。屋外のイルミネーションの他、ミルク館等の屋内での展示、またヘラルボニーとコラボを行う等さらに見ごたえあるものとなった。本年は、春の菜の花ロードをイメージしたイルミネーションを新設するなどし、11月23日から年明け1月9日まで開催された。

○補足用語

①【岩手県/雫石町の観光経済対策】

国による「GoTo トラベル」キャンペーンは休止されたままとなった一方で、県は引き続き近場旅を推進するため「いわて旅応援プロジェクト」を継続し、その後対象を県民だけでなく、北海道、青森、秋田、宮城、山形、福島に拡大。10月以降は、「GoTo トラベル」に代わる全国旅行支援として、対象を全国に拡大した。

本町では、全国を対象とした宿泊補助「雫石泊まって応援虹色キャンペーン」を実施した他、町内の宿泊施設や観光施設、飲食店等で利用できる「雫石エンジョイパスポート」と、「雫石町3スキー場共通リフト券」を本年も販売。いずれも発売日当日に完売し、落ち込んだ町内の観光需要の活性化に一役を担った。

②【花巻空港/仙台空港国際定期便運休】

花巻空港へは台湾便と上海便が、仙台空港へはタイ便が定期運行されていたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う各国の渡航/入国の制限により利用がストップ。令和2年2月以降これらの便は全便運休となった。本年10月以降外国人旅行者に対する入国制限が撤廃されたことで、成田、羽田など国内の主要空港は国際線の運行を再開したが、地方空港ではいまだ運行再開には至っていない。しかしながら、仙台空港は12月に韓国や台湾、上海からのチャーター便が再開。定期便では、エバー航空の台湾線が令和5年1月18日に運航再開の予定で、花巻空港への運航再開も期待される。(補足：タイガーエア台湾の仙台便については令和5年3月26日に、花巻便については同5月10日に運航再開予定であることが発表された。)

4 入込調査ポイント（観光施設）一覧表 ※調査にご協力いただいていない施設も含まれています。

小岩井地区	小岩井農場	鶯宿地区	フラワー＆ガーデン森の風
	ヴィラ館々倶楽部		鶯宿集会所
	ペンション イーハトーブ花の郷		男助山登山
	ペンション カンターピレ		しずくいし YU-YU ファーム
	B&Bホテルアルカディア(休館中)		
長山・網張地区	いわて雪まつり	国見・橋場地区	石塚旅館
	岩手高原スノーパーク		森山荘
	休暇村岩手網張温泉 本館		道の駅「雫石あねっこ」
	休暇村岩手網張温泉 温泉館		小柳沢砂防公園オートキャンプ場
	網張温泉スキー場		国見山荘(休館)
	網張展望リフト	国見キャンプ場(休場)	
	網張温泉キャンプ場(追加)	滝ノ上地区	滝観荘
	網張ビジターセンター		滝峡荘(休館中)
	あみはりロッヂ		みやま荘(休館中)
	ペンション さんりんしゃ		滝ノ上キャンプ場(閉鎖)
	ペンション びつき		滝ノ上登山
	ペンション HAIJI(休館中)	玄武地区	玄武風柳亭
	プチホテル クロくまくん(休館中)		ロッヂたちばな
	ペンション ベルクレール		四季の里
	ペンション ドア		温泉ペンション くまさんち
	ペンション フィールドノート(廃業)		
	ペンション もみじ	西根地区	雫石プリンスホテル
	ペンション 山賊		雫石ゴルフ場
	B&B ロックイーグル(休館中)		雫石スキー場
	民宿 なかがわ		ペンション シャラ
	民宿 杉清荘(休館中)		ペンション パオ
	民宿 坂井荘		ペンション ビアフィールド(休館中)
民宿 長助	Soil		
コテージ クレソン	ロッジ しのむら(廃業)		
農家レストランらら	民宿 寿(廃業)		
松ぼっくり	民宿 大柳		
県営屋内温水プール	民宿 そで		
ゆこたんの森	民宿 しらかば		
ありね山荘	民宿 高見荘		
岩手山登山	民宿 雫石荘		
	民宿 大工		
鶯宿地区	長栄館	その他地区	上野旅館
	ホテル加賀助		佐々木旅館
	ホテル偕楽苑		しずく×CAN
	寿広園		ホテル 花の湯(休館中)
	ホテル森の風鶯宿		御所湖広域公園(乗り物広場)
	ニュー鶯山荘		御所湖広域公園(ファミリーランド)
	ホテル鶯		御所湖広域公園(町場地区園地)
	清光荘		御所湖川村美術館
	川長		雫石銀河ステーション(売店・レストラン)
	鶯泉館		歴史民俗資料館
	かどや旅館		ケツパレランド
	石塚旅館		ウォータージャンプ
	鶯宿温泉の宿 赤い風車		雫石川(溪流釣り)
	温泉民宿 あげぼの荘		元祖しずくいし軽トラック市
	温泉民宿 とちない		雫石よしやれ祭
	温泉民宿 小枝		南部よしやれ全国大会
	温泉民宿 栄弥		しずくいし産業まつり
	温泉民宿 けむやま		コテージ村まつり
	温泉民宿 川久(休館中)		岩手山ろくファミリーマラソン
	八幡平カントリークラブ		御所湖 in しずくいし桜まつり

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向

(1) 概況

令和4年は「ウィズ コロナ」が謳われ、後半は行動制限も緩和されたことで、入込客数も増加に転じた。本年の観光レクリエーション客の入込数は **1,920,901 人回**で、昨年より 368,461 人回増の 123.7%、コロナ前の令和元年との比較では 595,431 人回減の 76.3%となった、年明けの第6波から11月以降の第8波まで感染の波があったものの、これまでのような行動制限がなかったことで人の動きも活発となり、県や町独自の旅行支援の効果もあって更なる減少は食い止められたが、コロナ前の8割に届いていない。

日帰客数は、**1,718,803 人回**で、前年比 294,924 人回増(120.7%)/R1 年比 467,675 人回減(78.6%)。宿泊客数は、**202,098 人回**で、前年比 73,537 人回増(157.2%)/R1 年比 127,756 人回減(61.3%)。

減少が続いていた宿泊客は昨年のおよそ 1.6 倍に増加したが、依然コロナ前の約 6 割に留まっている。

なお、本年 12 月時点でコロナ禍以降休業中の宿泊施設は 7 軒、閉館は 3 軒となった。

	H30	R1	R2	R3	R4
日帰	2,195,523	2,186,478	1,537,223	1,423,879	1,718,803
宿泊	337,763	329,854	182,379	128,561	202,098
総入込数	2,533,286	2,516,332	1,719,602	1,552,440	1,920,901



県の観光統計データから、岩手県および県内の主な市町の状況を見てみる。なお、本年のデータについては、現在公表されているのは1～9月までで、また特定の施設のみ集計対象のため、この報告書で述べる入込客数とは数値が異なる。

県全体の本年第3四半期までの入込客数は13,631,442人回で、昨年同期から2,527,955人回増の122.8%、一方でコロナ前のR1年同期比では9,760,522人回減の58.3%だった。本年は、行動制限が緩和されるなどしたため、主な市町では昨年同期を上回る入込となった。なお、全国旅行支援の開始は10月のため、その効果に関してはこのデータでは見えていない。

	入込数（人回）				R3/R1年比		R41Q-3Q/R1年比	
	R1	R2	R3	R4 1Q-3Q	（人回）		（人回）	
雫石町	1,806,804	1,228,987	1,044,924	931,246	-761,880	57.8%	-875,558	51.5%
盛岡市	3,995,336	1,602,696	1,097,222	1,083,546	-2,898,114	27.5%	-2,911,790	27.1%
八幡平市	1,903,771	1,520,761	1,406,503	1,177,584	-497,268	73.9%	-726,187	61.9%
北上市	1,209,165	401,491	370,904	436,616	-838,261	30.7%	-772,549	36.1%
平泉町	2,064,542	902,638	789,235	644,574	-1,275,307	38.2%	-1,419,968	31.2%
陸前高田市	871,281	813,899	863,775	733,416	-7,506	99.1%	-137,865	84.2%
岩手県	29,213,467	16,879,246	15,600,557	13,631,442	-13,612,910	53.4%	-15,582,025	46.7%

	1-3Q入込数（人回）				R3/R1年比		R4/R1年同期比		R4/R3年同期比	
	R1	R2	R3	R4	（人回）		（人回）		（人回）	
雫石町	1,443,571	935,798	740,459	931,246	-703,112	51.3%	-512,325	64.5%	190,787	125.8%
盛岡市	3,579,906	1,264,405	823,456	1,083,546	-2,756,450	23.0%	-2,496,360	30.3%	260,090	131.6%
八幡平市	1,480,682	1,134,300	1,022,925	1,177,584	-457,757	69.1%	-303,098	79.5%	154,659	115.1%
北上市	1,086,104	300,787	265,808	436,616	-820,296	24.5%	-649,488	40.2%	170,808	164.3%
平泉町	1,503,913	547,208	362,682	644,574	-1,141,231	24.1%	-859,339	42.9%	281,892	177.7%
陸前高田市	475,358	586,511	621,451	733,416	146,093	130.7%	258,058	154.3%	111,965	118.0%
岩手県	23,391,964	12,323,073	11,103,487	13,631,442	-12,288,477	47.5%	-9,760,522	58.3%	2,527,955	122.8%

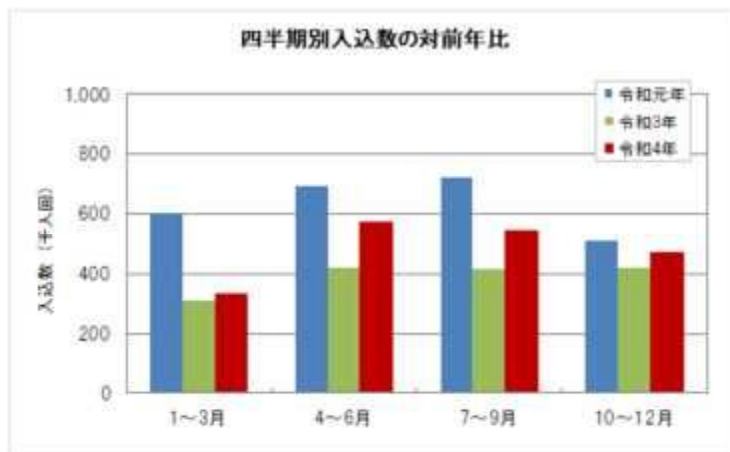
他市町の状況をそれぞれ第3四半期までのデータと比較すると、今回取り上げたすべての市町で昨年の1.2～1.8倍に増加したものの、コロナ前の30～80%に留まっている。盛岡市はR1年同期の30.3%、北上市と平泉町は同じく40.2%と42.9%でまだ本格的な回復には至っていないと見られるが、八幡平市は79.5%で他市町よりは回復が大きくなっている。一方で陸前高田市は、コロナ前同期の154.3%と昨年同様着実に増加している。



(2) 詳細

①四半期別

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	計
令和元年	602,574	689,232	719,570	504,956	2,516,332
令和3年	308,368	415,082	411,845	417,145	1,552,440
令和4年	334,418	573,419	544,122	468,942	1,920,901
前年比	108.4%	138.1%	132.1%	112.4%	123.7%
R1年比	55.5%	83.2%	75.6%	92.9%	76.3%



○1～3月 (単位：人回)

	1月	2月	3月	1～3月計
令和元年	186,423	269,703	146,448	602,574
令和3年	97,897	99,765	110,706	308,368
令和4年	123,631	106,949	103,838	334,418
前年比	126.3%	107.2%	93.8%	108.4%
前年差	25,734	7,184	-6,868	26,050
R1年比	66.3%	39.7%	70.9%	55.5%
R1年差	-62,792	-162,754	-42,610	-268,156

オミクロン株による感染の第6波に見舞われ、1月下旬には県独自の緊急事態宣言を発出、地区によっては日帰客を中心に入込が減少した。特に3月は重点措置や県独自の緊急事態宣言の影響か、入込の減少幅が大きくなり、全体でもマイナスの数字となった。

○4～6月 (単位：人回)

	4月	5月	6月	4～6月計
令和元年	193,714	306,429	189,089	689,232
令和3年	122,217	160,605	132,260	415,082
令和4年	164,595	239,237	169,587	573,419
前年比	134.7%	149.0%	128.2%	138.1%
前年差	42,378	78,632	37,327	158,337
R1年比	85.0%	78.1%	89.7%	83.2%
R1年差	-29,119	-67,192	-19,502	-115,813

第6波は落ち着きを見せ、5月末に県独自の緊急事態宣言も解除。『いわて旅応援プロジェクト』の対象拡大と期間延長もあり、入込は増加。人の動きも活発になってきて、多くの地区で県外客が前年同月の2～4倍に増加した。その一方で県内客は、前年同月並みか1.6倍程だった。

○7～9月（単位：人回）

	7月	8月	9月	7～9月計
令和元年	205,444	295,298	218,828	719,570
令和3年	150,431	129,624	131,790	411,845
令和4年	164,746	194,349	185,027	544,122
前年比	109.5%	149.9%	140.4%	132.1%
前年差	14,315	64,725	53,237	132,277
R1年比	80.2%	65.8%	84.6%	75.6%
R1年差	-40,698	-100,949	-33,801	-175,448

7月に入ると新たな変異株による第7波が発生。変異株の感染力もあって、爆発的に感染が拡大したが重点措置や行動制限は求められず、感染を心配してか県内客は減少したが、県外客は引き続き増加。特に9月は、修学旅行での来訪も多くなった。

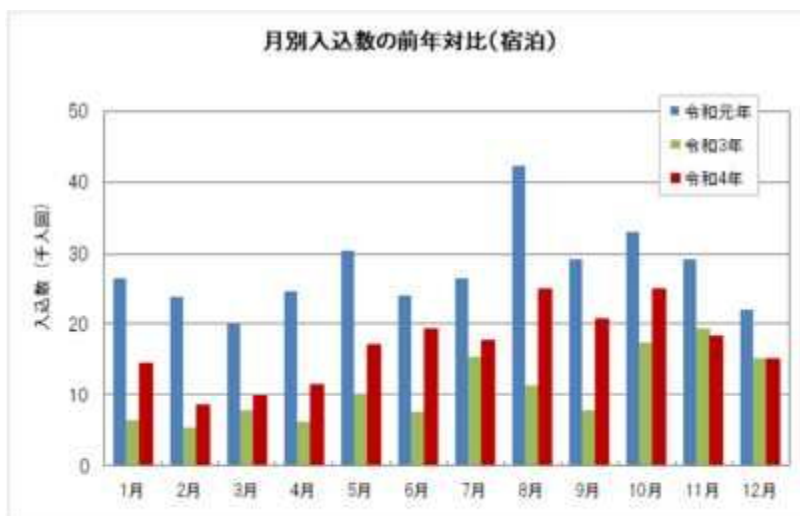
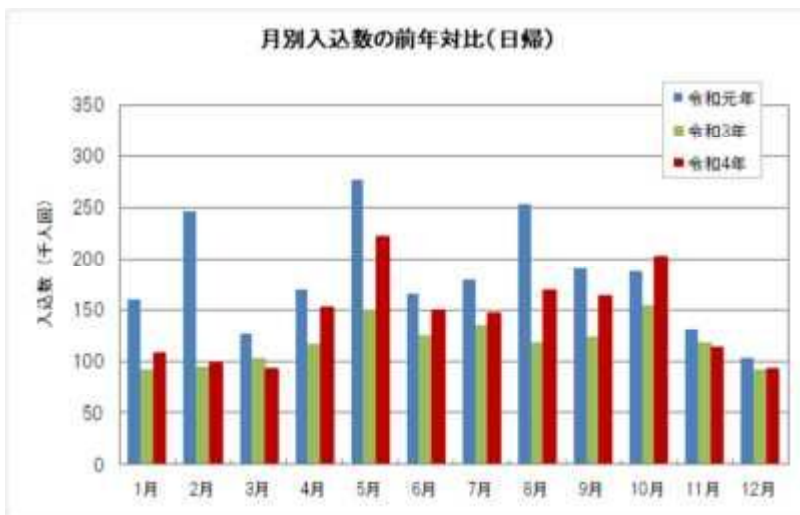
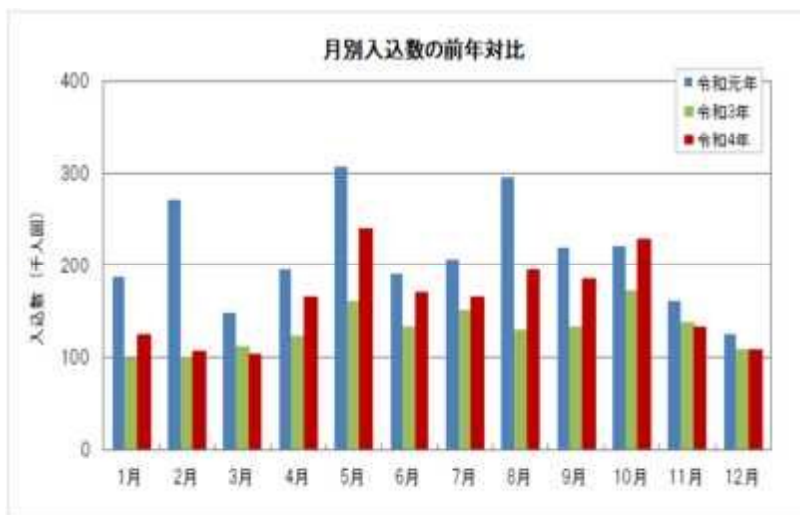
○10～12月（単位：人回）

	10月	11月	12月	10～12月計
令和元年	219,787	160,192	124,977	504,956
令和3年	172,099	137,611	107,435	417,145
令和4年	227,897	132,513	108,532	468,942
前年比	132.4%	96.3%	101.0%	112.4%
前年差	55,798	-5,098	1,097	51,797
R1年比	103.7%	82.7%	86.8%	92.9%
R1年差	8,110	-27,679	-16,445	-36,014

10月に全国旅行支援が再開され、紅葉シーズンと相まって入込は増加、10月はコロナ前の数値も上回った。11月には再び感染者数が増加し始め、特に県内客が大きく減少。12月も県外客の増加が期待されたと思うほど伸びず、県内客の減少もあって前年同月並みとなった。

②月別

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰	令和元年	160,124	246,090	126,649	169,130	276,159	165,189	179,142	253,199	189,803	186,858	131,043	103,092	2,186,478
	令和3年	91,596	94,395	103,083	116,211	150,755	124,708	135,199	118,348	124,019	154,853	118,300	92,412	1,423,879
	令和4年	109,064	98,458	93,861	153,043	222,232	150,219	147,151	169,506	164,369	203,091	114,292	93,517	1,718,803
	前年比	119.1%	104.3%	91.1%	131.7%	147.4%	120.5%	108.8%	143.2%	132.5%	131.2%	96.6%	101.2%	120.7%
	前年差	17,468	4,063	-9,222	36,832	71,477	25,511	11,952	51,158	40,350	48,238	-4,008	1,105	294,924
	R1年比	68.1%	40.0%	74.1%	90.5%	80.5%	90.9%	82.1%	66.9%	86.6%	108.7%	87.2%	90.7%	78.6%
	R1年差	-51,060	-147,632	-32,788	-16,087	-53,927	-14,970	-31,991	-83,693	-25,434	16,233	-16,751	-9,575	-467,675
宿泊	令和元年	26,299	23,613	19,799	24,584	30,270	23,900	26,302	42,099	29,025	32,929	29,149	21,885	329,854
	令和3年	6,301	5,370	7,623	6,006	9,850	7,552	15,232	11,276	7,771	17,246	19,311	15,023	128,561
	令和4年	14,567	8,491	9,977	11,552	17,005	19,368	17,595	24,843	20,658	24,806	18,221	15,015	202,098
	前年比	231.2%	158.1%	130.9%	192.3%	172.6%	256.5%	115.5%	220.3%	265.8%	143.8%	94.4%	99.9%	157.2%
	前年差	8,266	3,121	2,354	5,546	7,155	11,816	2,363	13,567	12,887	7,560	-1,090	-8	73,537
	R1年比	55.4%	36.0%	50.4%	47.0%	56.2%	81.0%	66.9%	59.0%	71.2%	75.3%	62.5%	68.6%	61.3%
	R1年差	-11,732	-15,122	-9,822	-13,032	-13,265	-4,532	-8,707	-17,256	-8,367	-8,123	-10,928	-6,870	-127,756

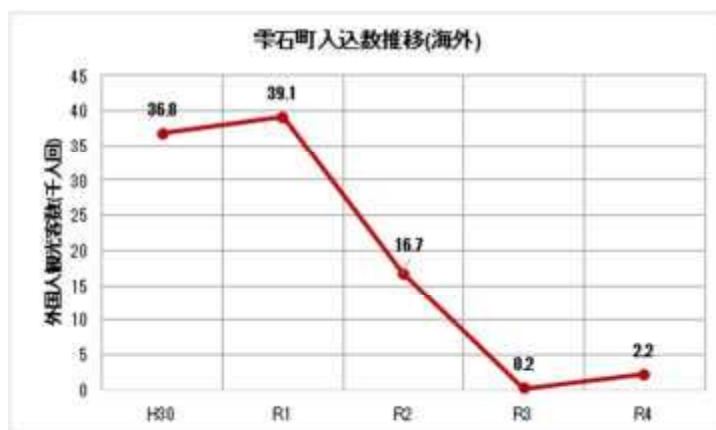


②発地別

県外客の入込数には外国人旅行者の人数も含まれているため、外国人を分けて比較を行った。10月の入国制限緩和以降、外国人旅行者数は増加に転じたが依然低迷。国内では、行動制限の緩和や各種旅行支援等の効果もあり県内/県外客数共増加に転じたが、未だコロナ前の水準には戻っていない。

発地別では、県内客が149,678人回増の1,310,012人回で前年比112.9%、県外客は216,799人回増の608,684人回/155.3%だったが、コロナ前のR1年との比較では県内客が82.4%、県外客は68.6%と、特に県外客はコロナ前の約7割に留まっている。一方、外国人旅行者は10月の入国制限解除以降増加し始めたが、当町への来訪はまだ少なく前年比ではおよそ10倍の1,984人回増、2,205人回だったが、コロナ前との比較では36,886人回減の5.6%と、回復には遠い状況にある。

	H30		R1		R2		R3			R4		
	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比	人数	前年比	R1年比	人数	前年比	R1年比
県内	1,604,960	92.6%	1,589,390	99.0%	1,172,956	73.8%	1,160,334	98.9%	73.0%	1,310,012	112.9%	82.4%
県外	891,511	98.9%	887,851	99.6%	529,947	59.7%	391,885	73.9%	44.1%	608,684	155.3%	68.6%
海外	36,815	107.1%	39,091	106.2%	16,699	42.7%	221	1.3%	0.6%	2,205	997.7%	5.6%



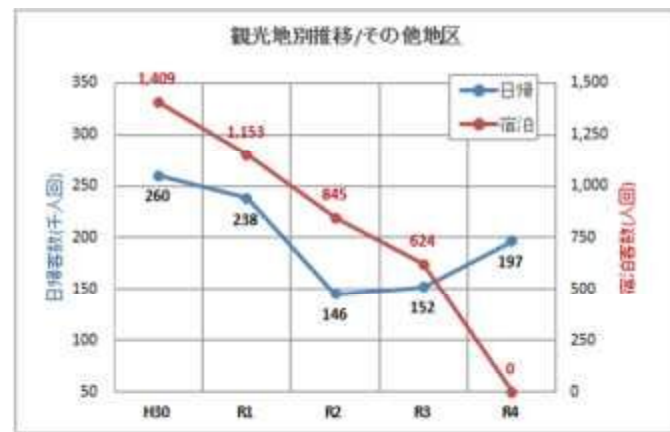
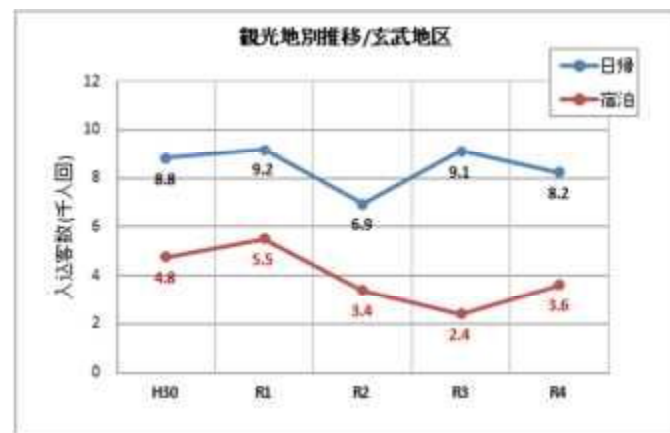
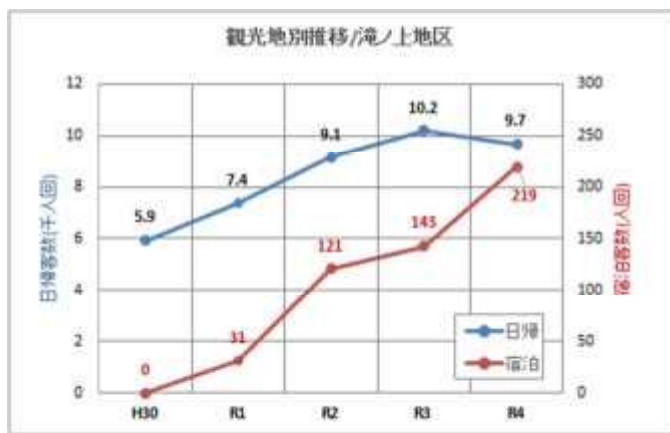
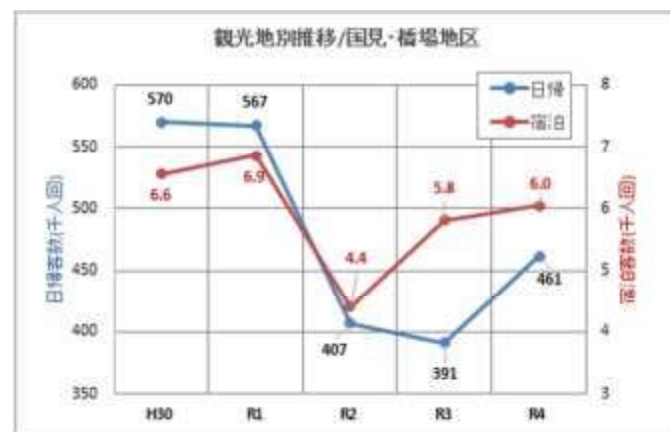
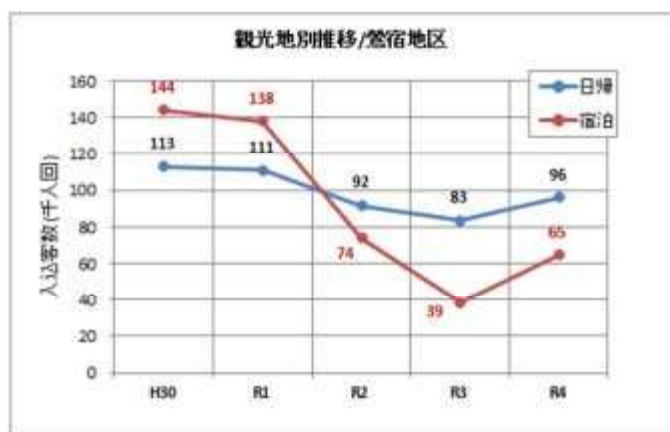
2 観光地年別入込推移

①日帰/宿泊別

本年は、「いわて旅応援プロジェクト」や町の宿泊補助事業の効果もあってか、日帰/宿泊客数ともほとんどの地区で増加に転じたが、日帰客はコロナ前の73～90%と戻り切ってはいない。また宿泊客も昨年より増えたものの、同様にコロナ前の47～88%に留まっている。

小岩井地区は前年比117,051人回増の169.8%と増加したものの、コロナ前のR1年比で105,098人回少なく73.0%に留まっている。長山・網張地区も日帰/宿泊とも昨年より増加し、地区全体で46,067人回増の107.7%となったが、R1年比では211,939人回減の75.3%。鶯宿地区は、日帰/宿泊とも増加に転じ38,910人回増の131.9%となったが、R1年比では88,015人回減/64.7%と苦戦している。国見・橋場地区は宿泊は昨年並みだったものの、70,738人回増の117.8%(同106,801人回減/81.4%)。滝ノ上地区は、登山者の減少により前年比457人回減の9,895人回(95.6%)とわずかに減少したが、堅実に増加している。西根地区は51,578人回増の157.0%(同41,280人回減/77.5%)。その他地区はイベントの再開等により、44,240人回増の129.0%と昨年より増加したが、R1年比では41,936人回減の82.5%で回復には至っていない。なお、その他地区の宿泊は、唯一の宿がコロナ禍により休業中のため、ゼロとなった。

観光地別	年度	H30		R1		R2		R3		R4		
		人	前年比	人	前年比	人	前年比	人	前年比	人	前年比	R1年比
			%		%		%		%		%	%
小岩井地区	日帰	387,887	66.1	389,090	100.3	162,832	41.8	167,329	102.8	284,153	169.8	73.0%
	宿泊	799	82.2	865	108.3	336	38.8	477	142.0	704	147.6	81.4%
	計	388,686	66.1	389,955	100.3	163,168	41.8	167,806	102.8	284,857	169.8	73.0%
長山・網張地区	日帰	770,965	114.2	788,350	102.3	653,672	82.9	561,305	85.9	591,862	105.4	75.1%
	宿泊	70,225	103.4	70,286	100.1	43,219	61.5	39,325	91.0	54,835	139.4	78.0%
	計	841,190	113.2	858,636	102.1	696,891	81.2	600,630	86.2	646,697	107.7	75.3%
鶯宿地区	日帰	112,990	99.1	110,910	98.2	91,643	82.6	83,492	91.1	96,219	115.2	86.8%
	宿泊	144,146	86.9	138,153	95.8	74,003	53.6	38,646	52.2	64,829	167.8	46.9%
	計	257,136	91.8	249,063	96.9	165,646	66.5	122,138	73.7	161,048	131.9	64.7%
国見・橋場地区	日帰	570,269	96.4	567,453	99.5	406,962	71.7	390,961	96.1	461,464	118.0	81.3%
	宿泊	6,559	124.1	6,855	104.5	4,409	64.3	5,808	131.7	6,043	104.0	88.2%
	計	576,828	96.7	574,308	99.6	411,371	71.6	396,769	96.5	467,507	117.8	81.4%
滝ノ上地区	日帰	5,938	99.0	7,370	124.1	9,159	124.3	10,209	111.5	9,676	94.8	131.3%
	宿泊	0	0.0	31	0.0	121	390.3	143	118.2	219	153.1	706.5%
	計	5,938	99.0	7,401	124.6	9,280	125.4	10,352	111.6	9,895	95.6	133.7%
玄武地区	日帰	8,821	96.8	9,187	104.1	6,940	75.5	9,101	131.1	8,224	90.4	89.5%
	宿泊	4,768	111.2	5,512	115.6	3,397	61.6	2,408	70.9	3,619	150.3	65.7%
	計	13,589	101.4	14,699	108.2	10,337	70.3	11,509	111.3	11,843	102.9	80.6%
西根地区	日帰	78,533	106.2	76,299	97.2	60,462	79.2	49,310	81.6	70,169	142.3	92.0%
	宿泊	109,857	121.0	106,999	97.4	56,049	52.4	41,130	73.4	71,849	174.7	67.1%
	計	188,390	114.4	183,298	97.3	116,511	63.6	90,440	77.6	142,018	157.0	77.5%
その他地区	日帰	260,120	94.7	237,819	91.4	145,553	61.2	152,172	104.5	197,036	129.5	82.9%
	宿泊	1,409	94.9	1,153	81.8	845	73.3	624	73.8	0	0.0	0.0%
	計	261,529	94.7	238,972	91.4	146,398	61.3	152,796	104.4	197,036	129.0	82.5%
合計	日帰	2,195,523	94.2	2,186,478	99.6	1,537,223	70.3	1,423,879	92.6	1,718,803	120.7	78.6%
	宿泊	337,763	100.3	329,854	97.7	182,379	55.3	128,561	70.5	202,098	157.2	61.3%
	計	2,533,286	94.9	2,516,332	99.3	1,719,602	68.3	1,552,440	90.3	1,920,901	123.7	76.3%



②発地別

地区毎の発地別状況については以下の通り。

【小岩井地区】

昨年県外客がコロナ前の1/10にまで減少したが、本年は前年比106,651人回増の618.8%と大幅に増加。しかしそれでもコロナ前の半分ほどである。一方県内客は、前年比10,074人回増の106.8%、R1年比でも104.5%と昨年ほどの伸びではなかったがコロナ前の水準には回復してきている。

【長山・網張地区】

県内/県外とも回復してきたものの、県内客は前年比106.1%(R1年比76.9%)、県外客は同111.3%(同72.4%)だった。

【鶯宿地区】

県内/県外とも昨年より増加したが、特に県外客は依然コロナ前の半分ほどに留まっている。県内客は前年比16,019人回増の115.9%(R1年比33,761人回減/77.5%)だったが、県外客は21,926人回増の201.6%と2倍となったものの、R1年の48.2%で回復が鈍い状況が続いている。

【国見・橋場地区】

県内客、県外客とも昨年より2割ほど増加。県内客は46,861人回増の324,671人回(前年比116.9%)、県外客は23,879人回増の142,836人回(同120.1%)だったが、R1年比ではまだ8割程度に留まっている。

【滝ノ上地区】

県外客が前年比618人回減の1,914人回(75.6%)と減少。県内客はほぼ横這いだったものの、コロナ前との比較では2,323人回増の141.1%となった。

【玄武地区】

県内客がわずかに減少したものの、県外客は昨年より増加。県内客は216人回減の前年比97.5%(R1年比88.6%)、県外客は550人回増の前年比119.8%(同66.1%)となった。

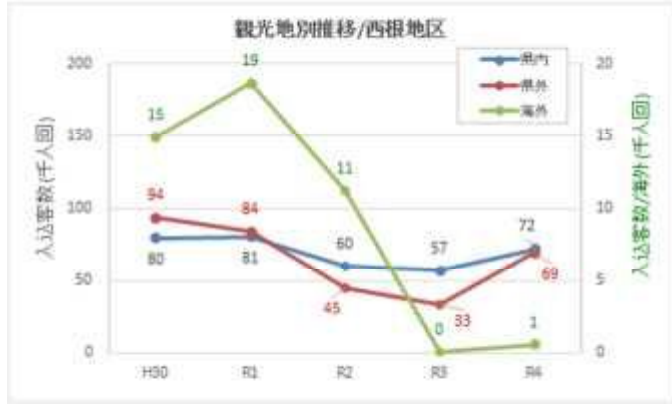
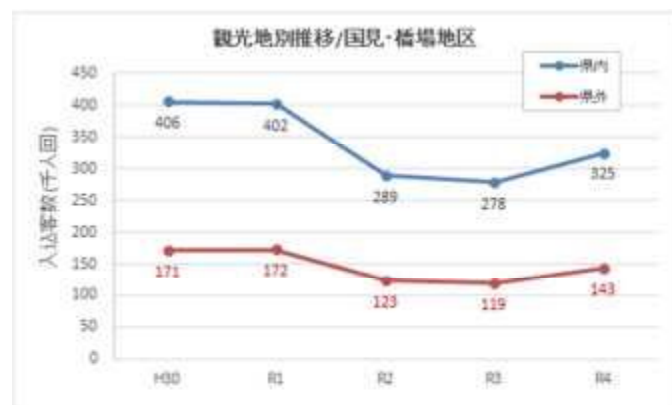
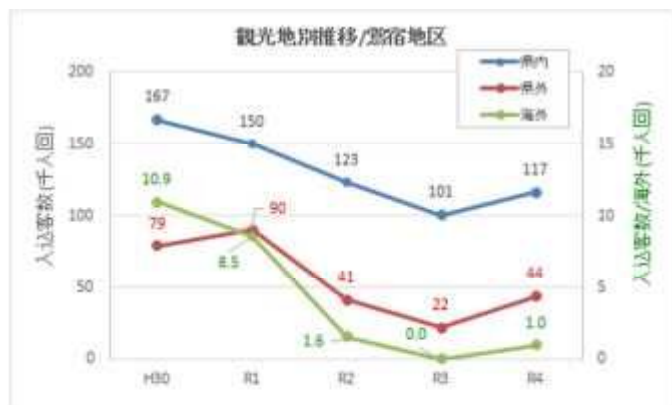
【西根地区】

県外客が35,977人回増の69,465人回で前年比207.4%(R1年比82.8%)に。県内客も15,070人回増の71,965人回(前年比126.5%、R1年比89.2%)で、県内/県外とも下げ止まった。

【その他地区】

イベントの再開等により、県内客は前年比35,834人回増の126.0%だったがコロナ前の84.2%、県外客は同8,352人回増の155.5%、コロナ前の71.7%に留まっている。

観光地別	年度	R1	R2	R3	R4	前年比	
						前年比	R1年比
小岩井地区	県内	150,516	71,365	147,235	157,319	106.8%	104.5%
	県外	229,671	89,066	20,558	127,224	618.9%	55.4%
	海外	9,768	2,737	13	314	2415.4%	3.2%
	計	389,955	163,168	167,806	284,857	169.8%	73.0%
長山・網張地区	県内	584,626	486,534	423,563	449,430	106.1%	76.9%
	県外	272,192	209,251	176,944	197,008	111.3%	72.4%
	海外	1,818	1,106	123	259	210.6%	14.2%
	計	858,636	696,891	600,630	646,697	107.7%	75.3%
鶯宿地区	県内	150,323	123,232	100,543	116,562	115.9%	77.5%
	県外	90,195	40,848	21,589	43,518	201.6%	48.2%
	海外	8,545	1,566	6	968	16133.3%	11.3%
	計	249,063	165,646	122,138	161,048	131.9%	64.7%
国見・橋場地区	県内	401,866	288,565	277,810	324,671	116.9%	80.8%
	県外	172,440	122,806	118,957	142,836	120.1%	82.8%
	海外	2	0	2	0	-	0.0%
	計	574,308	411,371	396,769	467,507	117.8%	81.4%
滝ノ上地区	県内	5,656	7,437	7,820	7,979	102.0%	141.1%
	県外	1,745	1,843	2,532	1,914	75.6%	109.7%
	海外	0	0	0	2	-	-
	計	7,401	9,280	10,352	9,895	95.6%	133.7%
玄武地区	県内	9,607	8,045	8,730	8,514	97.5%	88.6%
	県外	5,037	2,280	2,779	3,329	119.8%	66.1%
	海外	55	12	0	0	-	0.0%
	計	14,699	10,337	11,509	11,843	102.9%	80.6%
西根地区	県内	80,691	60,298	56,895	71,965	126.5%	89.2%
	県外	83,932	44,998	33,488	69,465	207.4%	82.8%
	海外	18,675	11,215	57	588	1031.6%	3.1%
	計	183,298	116,511	90,440	142,018	157.0%	77.5%
その他地区	県内	206,105	127,480	137,738	173,572	126.0%	84.2%
	県外	32,639	18,855	15,038	23,390	155.5%	71.7%
	海外	228	63	20	74	370.0%	32.5%
	計	238,972	146,398	152,796	197,036	129.0%	82.5%
合計	県内	1,589,390	1,172,956	1,160,334	1,310,012	112.9%	82.4%
	県外	887,851	529,947	391,885	608,684	155.3%	68.6%
	海外	39,091	16,699	221	2,205	997.7%	5.6%
	計	2,516,332	1,719,602	1,552,440	1,920,901	123.7%	76.3%



* 年間の外国人観光客数がこの期間 50 人以下の地区は、グラフから除外しています

3 観光地別月別入込状況

町内全体の月毎の推移をみると、オミクロン株による爆発的な感染拡大が顕著になった7月に県内客が前年の3割程度にまで減少する地区が出たものの、行動制限等が求められなくなったこともあり夏以降入込客数が増加。特に秋以降は全国対象の旅行支援等もあり、県外客数も増加に転じた。更なる観光客数の減少には歯止めがかかったもののコロナ前の状況までには回復途上であり、本格的な回復には至っていない状況である。

【小岩井地区】

8月以降県外客が大幅に増えた半面、県内客は同じ時期、前年同月を最大で約7割下回った。行動制限が実質なくなり、人の流れが変化したことが要因として考えられる。地区全体の入込は去年の169.3%と伸びたが、コロナ前のR1年比では73.0%とまだ回復途上である。

【長山・網張地区】

1～3月に日帰客が減少、特に3月は昨年より約10,000人ほど減少したが、4月以降は前年同月並みか多くなり、トータルでは昨年より5%ほど増加。一方宿泊客では、県内客が7月、11月に落ち込み伸び悩んだものの、県外客は3月以外は昨年より伸び、約40%増となった。

【鶯宿地区】

11月、12月に日帰/宿泊共県内客の減少が見られたが、ほぼ1年を通して前年並みか増加が見られた。通年では日帰客数は前年の115.2%(R1年比86.8%)となった。一方、宿泊客数は前年比167.8%(同46.9%)とコロナ前の半数に留まっており、依然厳しい状況にある。

【国見・橋場地区】

冬場に前年割れをする月があったものの、多くの月で県内/県外客とも増加。減少幅も前年同月の10%以内で、大幅な増加とはいかないものの、堅実に増加。宿泊は伸び悩み、昨年とほぼ同程度となった。

【玄武地区】

宿泊客は昨年より増加したが、日帰客は5月以降昨年を下回る月が続いた。日帰客は前年の90.4%(R1年比89.5%)、宿泊客は150.3%(同65.7%)。

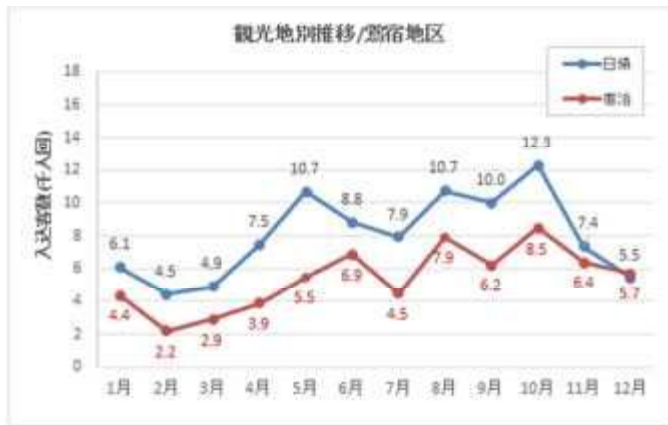
【西根地区】

トータルでは11月を除くすべての月で客数は増加したが、細かく見ると7月、12月で県内客の宿泊がそれぞれ去年の33%、67%に減少した。全体では日帰りは前年の142.3%(R1年比92.0%)、宿泊は174.7%(同67.1%)と、宿泊はまだ回復途上である。

【その他地区】

冬季の日帰客が県内/県外共に去年の45～90%に留まったが、イベントが再開されたグリーンシーズンで伸び、通年では昨年のおよそ1.3倍に増加した。

観光地別		R4 合計		
		県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	157,219	126,934	284,153
	宿泊	100	604	704
	計	157,319	127,538	284,857
長山・網張地区	日帰	421,146	170,716	591,862
	宿泊	28,284	26,551	54,835
	計	449,430	197,267	646,697
鶯宿地区	日帰	84,350	11,869	96,219
	宿泊	32,212	32,617	64,829
	計	116,562	44,486	161,048
国見・橋場地区	日帰	321,388	140,076	461,464
	宿泊	3,283	2,760	6,043
	計	324,671	142,836	467,507
滝ノ上地区	日帰	7,903	1,773	9,676
	宿泊	76	143	219
	計	7,979	1,916	9,895
玄武地区	日帰	6,517	1,707	8,224
	宿泊	1,997	1,622	3,619
	計	8,514	3,329	11,843
西根地区	日帰	56,075	14,094	70,169
	宿泊	15,890	55,959	71,849
	計	71,965	70,053	142,018
その他地区	日帰	173,572	23,464	197,036
	宿泊	0	0	0
	計	173,572	23,464	197,036
合計	日帰	1,228,170	490,633	1,718,803
	宿泊	81,842	120,256	202,098
	計	1,310,012	610,889	1,920,901



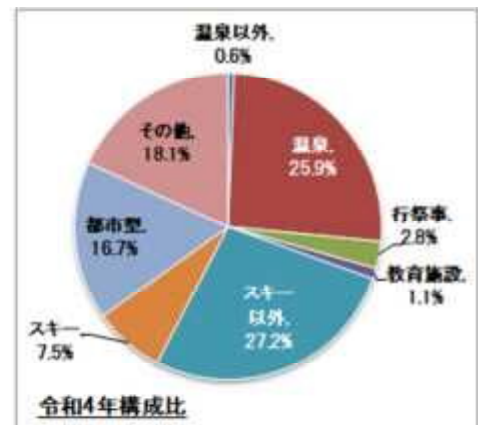
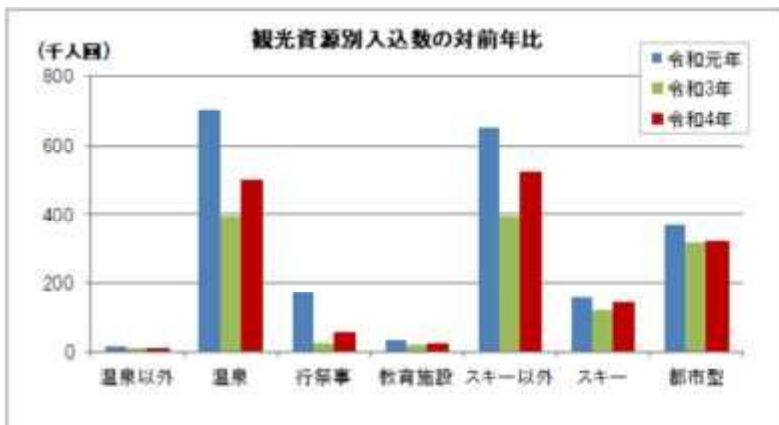
4 観光資源別入込状況

新型コロナウイルスの感染は続いていたものの、人の動きが活発化各種旅行支援や行祭事の再開等により「行祭事」を中心に入込数は増加した。一方で、屋内が中心となる「都市型観光」と「展示見学施設」では、他に比べ微増に留まった。また、「スキー」はコロナ前の9割ほどに回復したが、他の資源は依然7～8割ほどとなっている。

観光資源別入込数（人回）

	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学 教育施設	野外活動施設		観光資源		合計
	温泉以外	温泉	行祭事		スキー以外	スキー	都市型	その他	
令和元年	16,435	698,683	168,215	32,161	647,219	156,253	365,874	431,492	2,516,332
令和3年	9,400	393,254	24,919	20,139	390,681	117,061	315,696	281,290	1,552,440
令和4年	12,016	497,229	54,100	21,546	523,275	143,304	320,998	348,433	1,920,901
前年差	2,616	103,975	29,181	1,407	132,594	26,243	5,302	67,143	368,461
対前年比	127.8%	126.4%	217.1%	107.0%	133.9%	122.4%	101.7%	123.9%	123.7%
R1年差	-4,419	-201,454	-114,115	-10,615	-123,944	-12,949	-44,876	-83,059	-595,431
対R1年比	73.1%	71.2%	32.2%	67.0%	80.8%	91.7%	87.7%	80.8%	76.3%
構成比(R4)	0.6%	25.9%	2.8%	1.1%	27.2%	7.5%	16.7%	18.1%	100.0%

※野外活動施設(スキー以外)には、屋内温水プール、登山などを含む。



○自然系観光資源（温泉以外）

全体では昨年の127.8%となったが、コロナ前との比較では73.1%で、コロナ前の7割ほどに留まる。地区別では、長山・網張地区で前年比1,621人回増の423.6%(R1年比461人回減/82.2%)、西根地区が301人回増の116.3%(同2,002人回減/51.8%)で、これらの地区では教育旅行や合宿が再開したことで、民宿への入込が増えたことが要因と見られる。小岩井地区では前年比227人回増の147.6%(同161人回減/81.4%)、玄武地区は467人回増の107.1%(同1,786人回減/79.8%)だった。

○自然系観光資源（温泉）

温泉利用は、全体では前年比126.4%、R1年比71.2%と回復基調にあるものの、コロナ前の水準には達していない。地区別では、長山地区は前年比35,624人回増の123.0%だったが、コロナ前のR1年比では60,563人回減の75.9%。鶯宿地区は32,369人回増の136.1%(R1年比85,990人回減/58.7%)、国見地区は5,640人回増の105.6%(同20,677人回減/83.7%)、西根地区も30,443人回増の177.4%(同33,142人回減/67.8%)だった。このほか、玄武地区は133人回減の97.3%(同1,070人回減/81.8%)、滝ノ上地区は休業中だった滝峡荘が8月に再開し、865人回増の前年比126.9%(同1,711人回増/172.1%)と、絶対数は少ないものの堅実な増加を見せている。一方でその他地区では、唯一の温泉施設がコロナ禍で休業を続けているため、入込はゼロとなった。旅行支援の全国拡大や行動制限の解除により夏場以降入込は目に見えて増加したが、県内客は伸び悩んだ。

○行祭事

行動制限の緩和により、本年は規模を縮小しながらも再開する行祭事が増え、行祭事全体では前年比29,181人回増の217.1%と倍増したが、コロナ前との比較では114,115人回減の32.2%。昨年に続き「いわて雪まつり」が中止となったことが影響しており、この部分を加味すれば、9割ほどに回復している。他の行祭事では、軽トラ市は天気にも恵まれ、11月には過去最高の8,300人が来場するなどして、前年比12,400人回増の36,600人回(151.2%)を記録。コロナ前と比較しても4,900人回増の115.5%となった。一方、3年ぶりの開催となった雫石よしゃれ祭と産業まつりは、共にコロナ前より来訪者数を減らした。

主な行祭事の入込数と対前年比 ※雪まつりは町内会場分の入込のみ (人回)

行祭事	R1	R3	R4	前年差引	前年比	R1差引	R1年比
いわて雪まつり	109,580	0	0	0	-	-109,580	0.0%
軽トラ市	31,700	24,200	36,600	12,400	151.2%	4,900	115.5%
雫石よしゃれ祭	7,300	0	5,000	5,000	-	-2,300	68.5%
南部よしゃれ全国大会	500	0	500	500	-	0	100.0%
しずくいし産業まつり	17,000	0	12,000	12,000	-	-5,000	70.6%

* 「いわて雪まつり」はR4年をもって開催終了

○展示見学教育施設

長山地区は前年比552人回増の14,586人回(103.9%)とほぼ前年並みだったが、R1年比では5,936人回減の71.1%。その他地区も前年比では855人回増の6,960人回(114.0%)だったが、R1年比4,679人回減(59.8%)でいずれもコロナ前の6~7割程度に留まっている。

○野外活動施設（スキー以外）

本年登山者に関しては、シーズン中雨天が多かったこともあり、いずれの山でも昨年を下回った。一方で好天の週末に登山者が集中し、国見温泉登山口では路上駐車により大型バスが通行できなくなるなど、新たな問題も発生した。地区別の状況は、小岩井地区が前年比116,824人回増の169.8%となったが、R1年比では104,937人回減の73.0%に留まった。長山地区は10,113人回減の77.1%(R1年比16,636人回減/67.2%)。鶯宿地区は6,541人回増の120.1%(同2,025人回減/95.1%)、国見地区も登山客減の影響を受け前年比2,045人回減の86.3%(同3,065人回減/80.8%)となった。さらに、西根地区では4,869人回増の125.2%(同2,840人回増/113.3%)、滝ノ上地区では前年比1,322人回減の81.5%(同783人回増/115.6%)だった。その他地区は、天候により屋外施設の利用減があったものの、前年比17,840人回増(116.9%)の123,128人回(同904人回減/99.3%)で、コロナ前のほぼ同レベルに回復した。

○野外活動施設（スキー）

本年は1月以降順調に積雪量も増えて3月、12月にも十分な積雪があったことで、ほぼ予定通りの営業となった。誘客促進策として本年も実施した3スキー場共通シーズン券・リフト券の効果もあり、いずれの地区も昨年より増加、長山地区は10,276人回増の111.8%(R1年比3,973人回減/96.1%)とコロナ前に近いレベルまで回復、西根地区も15,965人回増の153.4%(同8,976人回減/83.6%)となったが、全体ではR1年比12,949人回減の91.7%と、やや雪不足だったR1年の水準にまで回復していない。

○都市型観光資源

長山地区では3月、12月に入込の減少が見られたものの、前年比8,105人回増の102.7%とほぼ昨年並み。R1年比では14,790人回減の95.4%だった。その他地区では工事等による休業の影響もあり、前年比2,803人回減の82.1%(R1年比30,086人回減/29.9%)と減少が止まらない。全体では5,302人回増の101.7%(同44,876人回減/87.7%)だった。

○その他観光資源

入込数は348,433人回で、昨年より67,143人回増え123.9%となったが、コロナ前のR1年比では依然83,059人回減の80.8%に留まっている。

5 利用交通機関の状況

雫石町における観光レクリエーション客の主な利用交通機関に変動はなく、「自家用車」の利用が最も多く、1,596,523人回で構成比は83.1%と全体の8割を占めた。また、「定期路線交通機関」の利用も全体の2.4%、46,000人回ほどの利用があるが、これは本年9月末で岩手県交通の「鶯宿温泉」線が廃止となり、バス利用はほぼないと思われることから、新幹線等の鉄道、航空機利用とみられる。

利用交通機関の状況と前年比

(人回)

	定路線 交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
令和1年	83,221	314,065	1,990,345	128,199	2,515,830
構成比(R1)	3.3%	12.5%	79.1%	5.1%	
令和3年	29,957	147,569	1,309,785	65,129	1,552,440
構成比(R3)	1.9%	9.5%	84.4%	4.2%	
令和4年	45,892	185,401	1,596,523	93,085	1,920,901
構成比(R4)	2.4%	9.7%	83.1%	4.8%	
前年比	153.2%	125.6%	121.9%	142.9%	
R1年比	55.1%	59.0%	80.2%	72.6%	

6 県外教育旅行客の入込状況

本年は、宿泊を伴う農業体験等での教育旅行の受入を再開。農家での民泊はできなかったものの、宿泊のみ民宿等宿泊施設を利用するなどして、郷土料理作りや工芸体験も含めた計8校の受入れを、雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会を通して行った。

一方修学旅行に関しては感染状況を探りながらではあるものの、関東や近畿地方からの来訪が戻ってきた反面、近県からの来訪が減少した。

また部活動の合宿も戻り始めており、11校のべ675人回を民宿を中心に受け入れることができた。

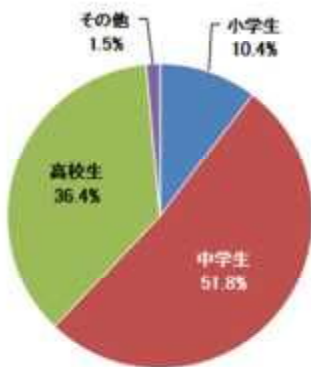
本年の県外からの教育旅行客は、学校数がのべ318校、のべ人数が26,386人回で、昨年と比較して学校数は18校(前年比106.0%)、人数は3,610人回(同115.9%)増加。コロナ前と比較すると学校数は174校増の220.8%、人数は13,166人回増の199.6%とおよそ2倍に増加した。1校あたりの平均人数も83.0人/校と昨年より増え、小グループでの来訪から学年、学校単位の来訪に戻りつつあると思われる。



学校種別では中学生が変わらず半数を占めた。高校生が36.4%と昨年より増えたが、これは高校生のおよそ40%を占める関東圏からの来訪が回復してきたことが要因となっている。一方で、小学生は10.4%とわずかに減少した。

学校種別	校数	のべ人数
小学校	59	2,737
中学校	184	13,664
高校	65	9,593
その他	10	392
計	318	26,386

県外教育旅行客の入込割合



県外教育旅行客の地方別入込割合



発地別	校数	のべ人数
北海道	11	1,258
東北	233	15,895
関東	42	6,278
中部	7	602
近畿	22	1,975
中国	2	93
四国	1	285
九州	0	0
沖縄	0	0
その他	0	0
計	318	26,386

また発地別では、東北各県からの入込が最も多いことには変わりはないが、その割合は昨年の80.5%から60.2%に減少。学校数は昨年より17校、のべ人数では2,448人回の減少となった。一方関東など遠方からの来訪は増加。関東は昨年の25校/2,181人回から42校/6,278人回に、近畿は8校/686人回から22校/1,975人回と、人数では昨年のおよそ3倍となり、いずれもコロナ前と比較しても増えている。

【学校種別】

中学生は順調に増加しており、184校/13,664人回と人数では前年の116.9%、コロナ前の242.1%となった。また高校生は、学校数は減少したものの、人数は前年の130.7%となる9,593人回に増加。昨年はコース別に少人数での来訪が目立ったが、本年は学校単位での来訪が戻ってきた影響と考えられ、高校生の約40%を占める関東からの1校あたりの平均人数は193人と最も多くなった。

一方、昨年伸びが大きかった小学生は、前年比87.0%となる2,737人回に減少。半数を占めていた青森県からの来訪がおよそ1/5に減少したことで、1校あたりの人数が減少したことが影響したとみられる。



【発地別】

増加を続けていた東北各県からの来訪が減少に転じ、コロナ前の約3.6倍と大きく伸びてはいるものの、前年比17校/2,448人回減の86.7%となった。一方減少が続いていた関東は増加に転じ、昨年の287.8%、コロナ前との比較でも118.6%とわずかに上回る数字となった。近畿からの来訪も22校/1,975人となり、前年比287.9%、コロナ前比133.6%となった。北海道やその他の地域からも、コロナ禍で落ち込んだ数値から戻りつつある。



【東北各県からの入込状況】

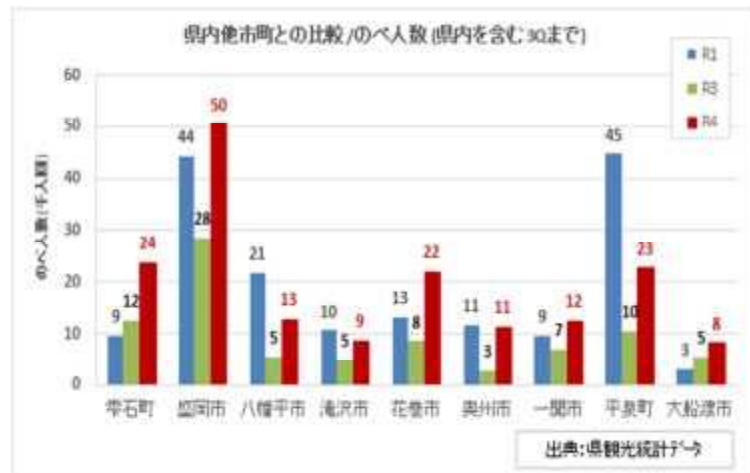
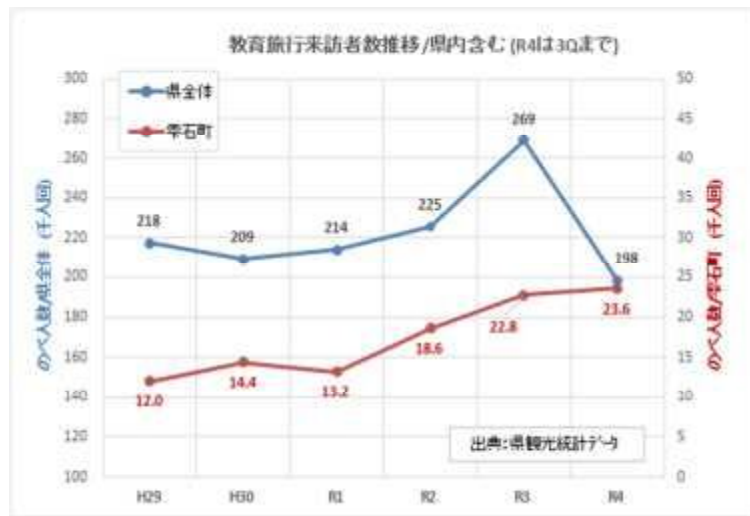
昨年と比較して増加となったのは秋田県のみで、37校/3,118人回と前年比1267.5%となった。小中高すべてで増加したが、特に中学生は前年比1010.9%の2,032人と大きく伸びた。山形県は、学校数は増えたものの人数は横這い。減少が著しかったのは福島県で、学校数・人数とも前年の約3割に減少。中学・高校の減少が大きく、それぞれ前年比27.3%、34.1%となった。

青森県、宮城県は、コロナ前より入込は多いものの前年の85%程度に減少した。青森県では高校生は前年比594.5%に増加したが、小学生が同22.3%に減少。宮城県は小中学生が微増したが、高校生が昨年の35.6%に減少したことが響いた。



さらに県観光統計データから岩手県と他市町の状況を見してみる（県データは県内の入込も含み、本年のデータは現在公表されている第3四半期までの速報値）。岩手県全体では、前年第1～第3四半期の比で94,655人回増の191.4%とおよそ2倍に増加。コロナ前の同期間との比較でも18,819人回増の110.5%と伸びを見せた。

また主な市町を見ると、同じく前年第1～第3四半期の比で平泉町が217.7%、奥州市が433.8%、八幡平市243.6%、花巻市259.2%といずれの市町も大きく伸びた。八幡平市、滝沢市、平泉町を除く市町はいずれもコロナ前同期間の入込と同程度か多くなった。これらの数値には修学旅行での来訪人数も含まれるため、新型コロナが落ち着き修学旅行が再開してきたことも、増加の要因と思われる。



7 外国人観光客の入込状況

各国の旅行者に対する制限緩和の流れを受け、日本でも6月に添乗員付きツアー限定で観光客の受入を再開。10月11日からは、入国者数の上限を撤廃し、個人旅行の受入も再開した。昨年は日本全体として66,387人回にまで落ち込んだ外国人観光客だが、制限緩和により急速に回復しつつある。

本年の日本全体の外国人観光客数はJNTOの暫定値で2,487,835人回、昨年のおよそ3.6倍となったが、約2,800万人が訪れたR1年と比べると、まだ1割ほどである。

町内への外国人観光客も10月以降徐々に増え始め、昨年のおよそ10倍となる2,205人回となったが、コロナ前の5.6%とまだ1割にも達していない。

本格的な回復のための要素の一つとして待たれるのが、地方空港への国際線再開である。仙台空港では韓国、台湾、タイなどとのチャーター便の運航は再開したが、花巻空港を含め12月時点ではまだ定期便は再開しておらず(補足：仙台⇄台湾のエバー航空便は令和5年1月18日再開)、早期の再開が待たれる(補足：花巻⇄台湾便は令和5年5月10日に、仙台⇄バンコク便は同10月30日再開予定)。

日帰り/宿泊の別では、日帰り客数は774人回で前年比621人回増の486.3%(R1年比10,416人回減/6.9%)、宿泊客数は1,431人回で前年比1,363人回増の2104.4%(同26,470人回減/5.1%)だった。

コロナ前に増加し始めていたスキー/スノーボード目的と見られる来訪は265人回で、回復には遠い状況にある。しかしながら、本年は新たに農作業体験やそば打ち等の食体験の要望があり、デンマークと香港から合計3グループ/47名をグリーン・ツーリズム推進協議会を通して受入れた。デンマークの旅行会社からは既に令和5年にも北欧各国から同様の体験希望で予約が入っており、近隣地域との差別化ができるユニークなコンテンツとして今後期待が大きい。

国・地域別の解析を行うにはまだ十分な入込ではないが、アジアからが全体のほぼ75%を占めた他、ヨーロッパからが5%となった。主要国・地域毎の入込状況は以下の通り。出入国時の措置が早めに緩和された香港からの来訪が目立った。



外国人観光客の入込状況 (人回)

地域 国籍等	H30			R1			R2			R3 (2021)			R4 (2022)			
	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	
アジア	中国	193	485	678	1,938	712	2,650	32	248	280	1	0	1	23	16	39
	台湾	7,332	20,215	27,547	6,510	21,397	27,907	2,083	8,150	10,233	4	1	5	39	676	715
	香港	926	2,161	3,087	83	2,141	2,224	39	1,736	1,775	4	0	4	233	414	647
	韓国	152	719	871	258	350	608	12	60	72	0	0	0	1	4	5
	タイ	108	610	718	156	884	1,040	117	343	460	0	0	0	0	158	158
	シンガポール	22	132	154	64	188	252	2	33	35	0	0	0	0	51	51
その他	282	377	659	261	328	589	163	52	215	15	2	17	65	6	71	
オセアニア	オーストラリア	279	677	956	22	1,049	1,071	17	1,837	1,854	0	0	0	18	9	27
	その他	1	56	57	6	93	99	6	351	357	5	3	8	0	0	0
北米	アメリカ	15	263	278	185	250	435	170	162	332	17	54	71	13	34	47
	カナダ	1	48	49	1	40	41	2	16	18	0	0	0	0	0	0
ヨーロッパ	イギリス	2	30	32	14	31	45	5	18	23	0	0	0	34	3	37
	フランス	4	50	54	4	66	70	1	3	4	0	2	2	1	1	
	ドイツ	43	280	323	19	166	185	3	38	41	0	0	0	5	10	15
	スイス	2	18	20	0	19	19	3	4	7	0	0	0	0	0	0
	スウェーデン	30	3	33	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	21	139	160	57	84	141	96	149	245	0	5	5	54	1	55
中南米	1	49	50	38	40	78	8	0	8	0	0	0	0	0	0	
アフリカ	12	2	14	2	0	2	0	0	0	2	0	2	5	0	5	
不明	928	147	1,075	1,566	63	1,629	740	0	740	105	1	106	283	49	332	
合計	10,354	26,461	36,815	11,190	27,901	39,091	3,499	13,200	16,699	153	68	221	774	1,431	2,205	

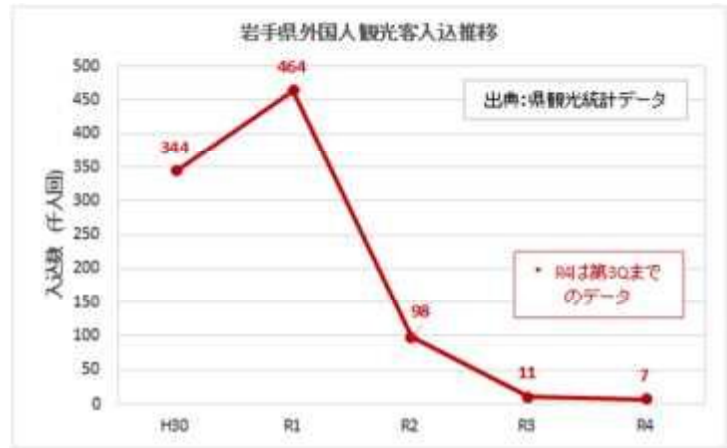
次に県の観光統計データから岩手県全体の状況を見てみる(本年のデータは現在公表されている第3四半期までの速報値)。岩手県を訪れた外国人観光客は順調な伸びを示していたが、新型コロナウイルスの影響でR2年3月以降大きく減少に転じ、昨年は10,854人回にまで減少した。

本年は制限解除に伴って第3四半期に入り増加に転じているものの、第1、第2四半期が昨年同期を下回ったこともあり、公表されている第3四半期まででは7,133人回で昨年同期の約92%となった。まだ公表されていない第4四半期の伸びに期待したい。

また他市町の状態については、盛岡市が第3四半期までの速報値で1,838人回(前年比46.1%)、八幡平市が230人回(同120.4%)、花巻市は97人回(同303.1%)、平泉町は687人回(同52.5%)。当町も含め第3四半期までは、厳しい入込となった市町が多かった。

本年末の時点では来訪者の多くを占めていた中国、台湾での自国民に対する海外旅行の規制や中国からの直行便による入国者に対する陰性証明書の取得が解除されておらず、来訪者数もまだ限定的であることも回復にブレーキがかかっている要因の一つである。

入国規制がほぼなくなった10月以降当町への外国人客の入込も目に見えて増加しており、令和5年1月のニューヨークタイムズの記事や花巻⇄台湾線を含む地方空港への国際線再開の効果により、さらなる回復が期待される。また、農作業や食の体験などこれまであまり注目されなかったアクティビティに興味を持たれつつあり、これらを外国人観光客向けのコンテンツとしてブラッシュアップすることも、外国人観光客の獲得に寄与できるかもしれない。

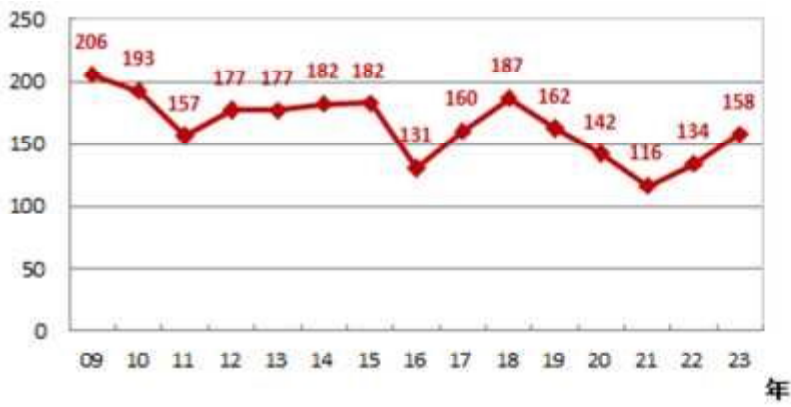


8 2022～2023シーズン・スキー客入込状況

(単位:人回)

	年次	12月	1月	2月	3月	4月	計	備 考
	栗石スキー場	09	16,308	24,131	23,935	21,148		85,522
10		7,410	24,078	20,716	14,600		66,804	12/18～3/28
11		6,005	20,004	21,440	3,855		51,304	12/18～
12		3,728	18,293	18,577	9,600		50,198	12/22～3/20
13		6,726	19,862	15,498	8,035		50,121	12/15～3/31
14		7,990	17,993	18,699	10,189		54,871	12/14～3/30
15		12,236	18,745	15,388	7,568		53,937	12/13～3/29
16		2,994	11,489	11,011	5,498		30,992	12/23～3/27
17		2,315	17,810	17,167	9,566		46,858	12/16～3/26
18		7,613	22,138	21,140	9,658		60,549	12/16～3/25
19		4,608	21,300	19,500	8,666		54,074	12/15～3/31
20		5,400	21,740	19,020	5,720		51,880	12/21～3/29
21		3,000	11,700	9,770	4,355		28,825	12/26～3/21
22	4,100	16,620	14,900	7,540		43,160	12/25～3/27	
23	6,830	18,228	20,066	8,800		53,924	12/24～3/26	
網張温泉スキー場	09	3,606	19,285	14,324	13,003		50,218	12/19～3/29
	10	4,553	15,904	13,502	11,104	1,841	46,904	12/23～3/28、4/3・4
	11	2,166	15,686	14,508	4,346		36,706	12/25～
	12	3,510	18,659	15,447	12,940	1,330	51,886	12/23～4/1
	13	5,833	18,406	14,405	13,026	2,012	53,682	12/15～4/7
	14	5,524	18,332	14,351	13,459		51,666	12/14～3/30
	15	7,475	17,600	15,099	11,821	1,065	53,060	12/13～4/5
	16	2,067	16,465	13,488	10,310		42,330	12/28～3/27
	17	1,602	16,327	16,565	16,565	838	51,897	12/18～3/26、4/1・2
	18	6,830	18,797	16,953	12,047	168	54,795	12/16～4/1
	19	5,279	17,275	14,409	12,047		49,010	12/15～3/31
	20	2,860	17,025	15,757	10,190		45,832	12/21～3/29
	21	2,710	16,936	13,982	10,533		44,161	12/26～3/28
22	3,286	17,788	15,670	10,481		47,225	12/25～3/27	
23	3,487	17,226	15,428	11,464		47,605	12/24～3/26	
岩手高原スノーパーク	09	7,585	28,378	23,491	9,693	841	69,988	12/13～4/5
	10	8,506	37,026	24,307	8,436	736	79,011	12/19～4/4
	11	6,296	32,681	25,896	3,687		68,560	12/19～
	12	7,233	34,543	22,343	9,840	1,262	75,221	12/22～4/8
	13	8,073	33,304	22,825	8,746		72,948	12/15～3/31
	14	11,274	31,006	22,090	11,128		75,498	12/14～3/30
	15	13,520	31,434	21,247	9,269		75,470	12/13～3/29
	16	5,748	26,818	18,586	6,126		57,278	12/23～3/27
	17	3,682	25,227	21,494	9,749	1,105	61,257	12/15～4/9
	18	11,574	28,418	21,634	8,995	723	71,344	12/9～4/8
	19	8,863	25,257	18,294	6,217	783	59,414	12/15～4/7
	20	4,245	21,072	14,035	4,842	262	44,456	12/15～4/5
	21	3,165	19,875	14,277	5,580	300	43,197	12/26～4/4
22	2,367	19,016	14,468	6,344	1116	43,311	12/18～4/10	
23	9,044	21,936	16,566	7,990	454	55,990	12/10～4/2	
合計	09	27,499	71,794	61,750	43,844	841	205,728	
	10	20,469	77,008	58,525	34,140	2,577	192,719	
	11	14,467	68,371	61,844	11,888	0	156,570	
	12	14,471	71,495	56,367	32,380	2,592	177,305	
	13	20,632	71,572	52,728	29,807	2,012	176,751	
	14	24,788	67,331	55,140	34,776	0	182,035	
	15	33,231	67,779	51,734	28,658	1,065	182,467	
	16	10,809	54,772	43,085	21,934	0	130,600	
	17	7,599	59,364	55,226	35,880	1,943	160,012	
	18	26,017	69,353	59,727	30,700	891	186,688	
	19	18,750	63,832	52,203	26,930	783	162,498	
	20	12,505	59,837	48,812	20,752	262	142,168	
	21	8,875	48,511	38,029	20,468	300	116,183	
22	9,753	53,424	45,038	24,365	1,116	133,696		
23	19,361	57,390	52,060	28,254	454	157,519		

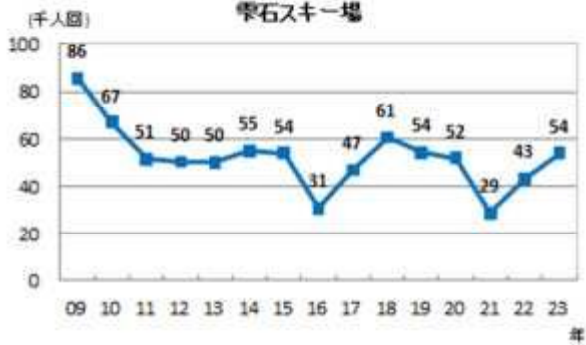
年次別スキー客入込推移(全体)



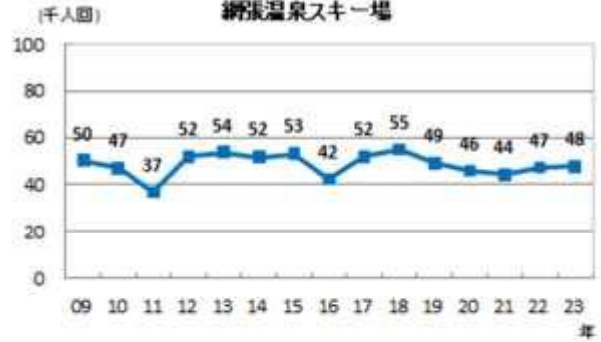
各スキー場の入込割合



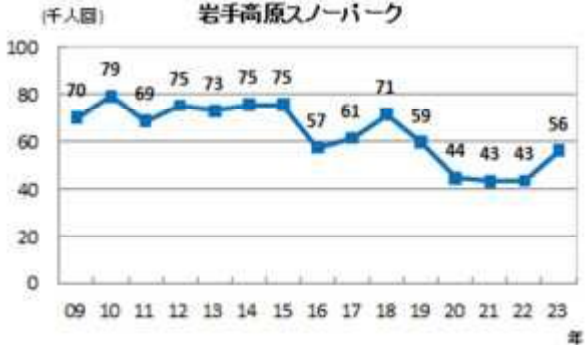
雫石スキー場



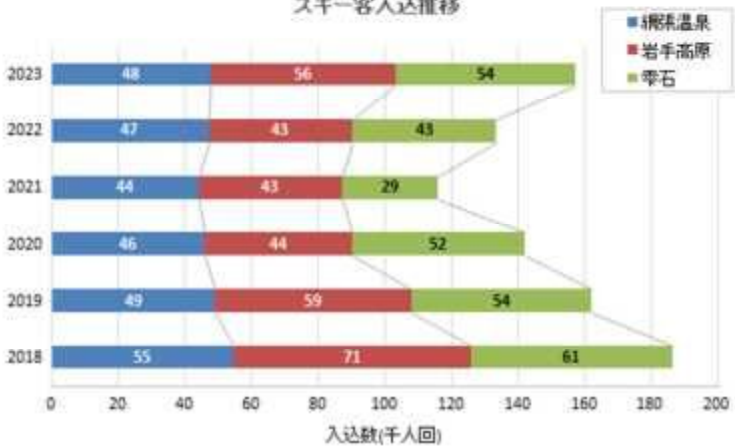
網走温泉スキー場



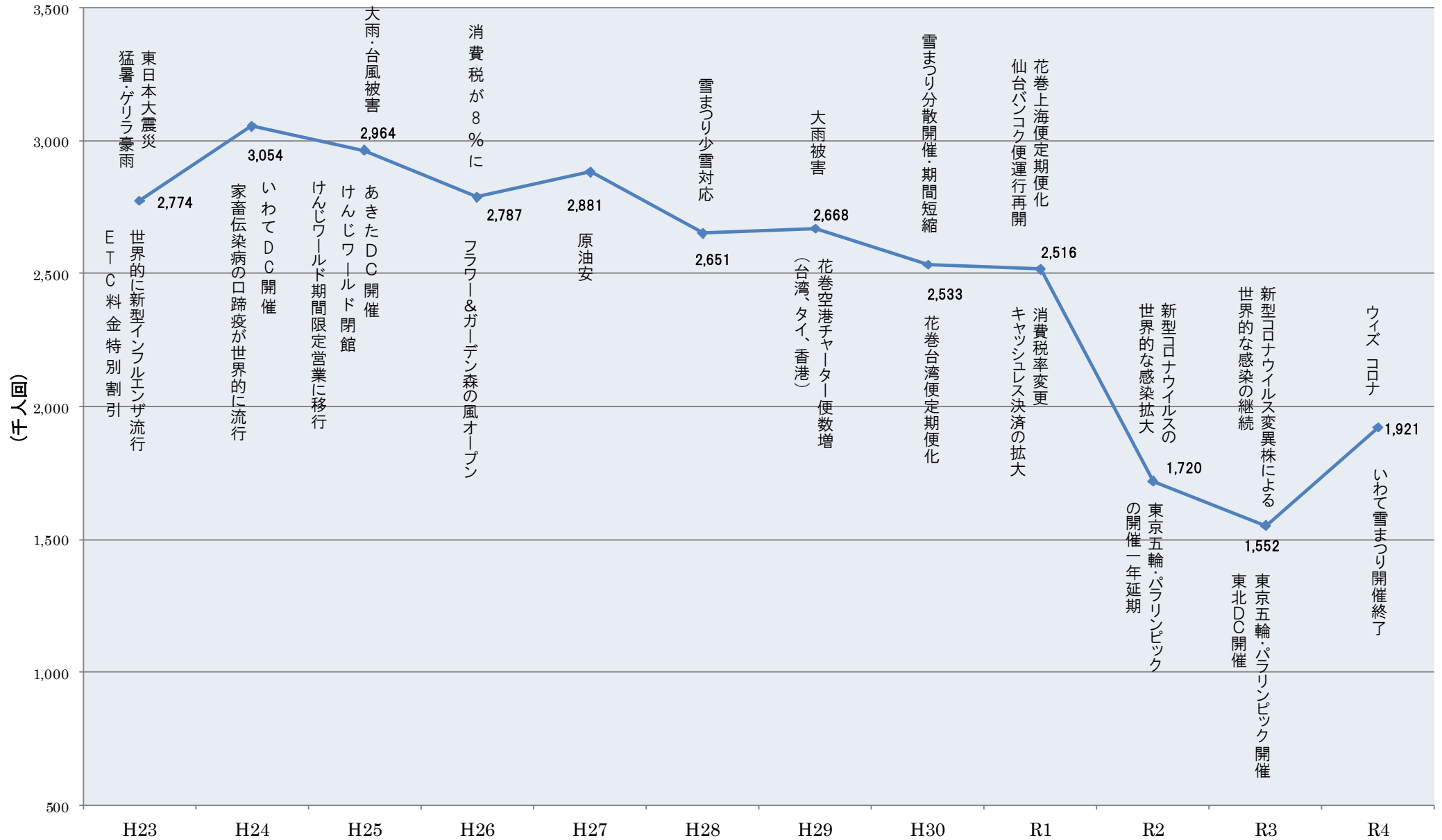
岩手高原スノーパーク



スキー客入込推移



9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移 H23～R4



(参考) 旧基準 (S57~H22 まで)

